



韓国チームとのトレーニングマッチ

コカ・コーラウエストレッドスパークス ホッケー部は、3月3日(月)～8日(土)にかけ、CCWRS ホッケースタジアムで、韓国チーム 牙山(アサン)市役所女子ホッケーチームとのトレーニングマッチを実施した。四日間にかけて行われたトレーニングマッチは、レッドスパークスの二勝一分一敗という結果となった。

またこのトレーニングマッチで、相互の競技力向上・日韓親善交流が図られた。



トレーニングマッチでリードする CCWRS

トレーニングマッチ結果

3月3日(月)	CCWRS●	2-3	○牙山市	前半 1-2	後半 1-1
3月5日(水)	CCWRS○	4-2	●牙山市	前半 2-1	後半 2-1
3月7日(金)	CCWRS△	2-2	△牙山市	前半 2-2	後半 0-0
3月8日(土)	CCWRS○	3-0	●牙山市	前半 3-0	後半 0-0



オープン戦開始 マエケン乱調 6失点

いよいよ今季の開幕を知らせるオープン戦が始まった。地元最初のオープン戦は3月8日(土)にヤクルト戦が福山で行われ、マツダスタジアムでは翌日の3月9日(日)に同じくヤクルト戦が行われた。

この日の先発は広島のエース前田健太投手だが、制球が乱れ3回6失点としてしまう。しかしキラがホームランを放つなど打線が爆発し、その後の新人九里の好投もあり8-6と逆転勝利を収めた。

またこの日は、ライト側コンコースグッズショップ前にマツダ スタジアム新名所となる「まえとも坊や人形」がお披露目された。「まえとも坊や人形」は、球団アドバイザーの前田智徳さんの少年時代をイメージし

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



NTT 西日本広島
ソフトテニスクラブ
大庭 彩加 選手

生年月日 1987/5/29
身長 163cm
血液型 A型
出身地 岡山

担当者からのコメント

日本屈指のオールラウンドプレイヤー
ダブルス・シングルス共に日本タイトルホルダー



地元開催のアジアカップ 男女共に3位で終わる

NTT 西日本広島ソフトテニスクラブは3月8日(土)、9日(日)に広島市中央庭球場などで行われた第18回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会に出場した。国体強化チームや日本リーグ所属、国際大会で活躍する海外の選手も出場しており、レベルの高い大会で、今年の戦いの前哨戦といえる。

男子は3年ぶりの優勝を目指したが準決勝で苦敗し、3位に終わった。女子も同じく準決勝で敗退し3位。

優勝はできなかったが、この結果をバネに次の試合に期待したい。



ロゴマークの意味

広島県の花、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ

中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス

Carp

広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



サンフレッチェ広島

開幕連勝！三連覇へ向け好スタート！

試合に挑む選手達



© 2014 SFC

2014年3月1日(土)、待ちに待ったJリーグが開幕した。昨年、リーグ連覇を成し遂げ、今年リーグ3連覇を狙うサンフレッチェはアウェイでセレッソ大阪との対戦。セレッソ大阪は、日本代表の柿谷選手や山口選手、新たに獲得した南アフリカW杯の得点王&MVPになったウルグアイ代表、ディエゴ・フォルランが所属する優勝候補。試合は、セレッソ大阪が前述の三選手を中心にボールをまわし、チャンスをつくるも、サンフレッチェのDF陣が粘りの守備ではね返す。後半26分、石原選手が上げたマイナスのクロスを塩谷選手が左足で叩き込んだ。その得点が決勝点となり1-0でサンフレッチェは2014年度Jリーグ初戦を勝利で飾った。

続く2戦目は、ホームに2013年Jリーグ得点王になった大久保選手擁する川崎フロンターレを迎えた。試合は、前半47分、川崎フロンターレの小林選手にポレーシュートを決められるも、後半12分に佐藤選手の芸術的ループシュートが決まり同点に。この得点で勢いづいたサンフレッチェは後半50分、ペナルティエリア手前のFKを塩谷選手が直接ネットへ突き刺しそれが決勝点に。20年ぶりの開幕連勝で、3連覇へ向け好スタートをきった。



シュートを打つ塩谷選手

中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部

竹原市で陸上教室を開催

3月22日(土)に竹原市のバンブースポーツ公園で、竹原市内在住または、通学・通勤の方を対象に開かれた陸上教室に中国電力陸上部の岡本直己選手、森本卓司選手、米澤類選手が講師として参加した。前日とは打って変わって暖かく運動に適した気候のなか、下は5歳、上は77歳と幅広い年齢の参加者70名程度を対象に、ゲームを交えて陸上競技について指導した。

「走り方は人それぞれ」という考えの下、指導のひとつに選手の走りの違いは何か？と題して各選手の走りを見て、参加者から走りの違いと特徴的なところを答えてもらうプログラムを行った。小学生から「森本選手は大きく腕を振っていて、米澤選手は前をしっかり向いて姿勢が良かった。最初の走り方の指導のとおりだった。」と答えがあり、選手の走りを間近で見れることに関心が高かった。終了後にサイン会・撮影会を行い、選手と参加者の方が楽しくふれあう姿が印象的であった。

セミファイナルへ一歩前進

JTサンダーズは3月8日(土)呉市総合体育館でFC東京と対戦した。上位争いの混戦の中、一歩前進したいJTサンダーズは第1セット、JTは越川優選手やイゴール選手の攻撃で、FC東京はグラディナロフ選手の攻撃や山本将平選手の連続サービスエースなどとともに譲らず、中盤まで互角の展開。後半、JTが要所で安永拓弥選手や井上俊輔選手のブロックが決まり、先取した。第2セットは終始リードを奪う展開でセットを連取した。勢いに乗るJTは続く第3セットも安定した試合運びでFC東京を寄せ付けず、勝利した。

3月9日(日)は堺ブレイザーズと対戦した。2勝差で4チームがひしめく混戦の上位争いの中、現在2位のJTサンダーズと3位につける堺ブレイザーズの激しい争いだ。第1セット、JTが越川優選手やイゴール選手を中心とした攻撃で得点を重ねれば、堺は松本慶彦選手や千々木駿介選手の攻撃で対抗し、序盤は互角の展開。中盤以降、酒井大祐選手らの安定したレシーブから多彩な攻撃を見せたJTがリードを広げ、最後は越川優選手、安永拓弥選手の連続ブロックでこのセットを先取した。勢いに乗るJTは第2セットも連取した。第3セットは一転し堺がペースをにぎりそのまま第3セットを取った。第4セットは一進一退の白熱した展開になった。壮絶な打ち合いでデュースにもつれこんだが、最後は地元呉の大声援の中、イゴール選手がサービスエースを決めてJTが接戦を制した。JTはセミファイナルラウンド進出に向け、貴重な勝利を収めた。この調子でセミファイナル進出を決めることに期待したい。



Do スポーツ バドミントン教室



打ち方を教える桜井みどり選手



素振りを教える井上静華選手

2月26日(水)本川小学校(53名)、2月27日(木)井口小学校(147名)、2月28日(金)古田小学校(147名)でDoスポーツが行われた。

選手のスマッシュの速さを実際に子供たち体験してもらい、選手同士のエキシビジョンマッチを観戦してもらうなど、本物のバドミントンを披露した。その後グループに分かれ、ラケットの握り方・打ち方などを指導していった。普段、なかなかこういった機会がない子供たちには良い経験になったであろう。Doスポーツを通してより多くの子供たちにバドミントンの楽しさを知ってもらいたい。

2/26~3/25 トップス広島 試合結果

サンフレッチェ広島

▽リーグ戦

3/8 サンフレ ○ 2-1 ● 川崎フロンターレ

3/15 サンフレ ● 0-2 ○ 浦和レッズ

▽AFCチャンピオンズリーグ

3/19 サンフレ ○ 2-1 ● FCソウル

JTサンダーズ

▽リーグ戦

3/8 JT ○ 3-2 ● FC東京

3/9 JT ○ 3-2 ● 堺

NTT西日本広島ソフトテニスクラブ

3/8・9 第18回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会
男子団体 3位 女子団体 3位

広島東洋カープ

▽オープン戦

3/8 広島東洋カープ ● 4-6 ○東京ヤクルトスワローズ

3/9 広島東洋カープ ○ 8-6 ●東京ヤクルトスワローズ

3/23 広島東洋カープ ● 5-11 ○福岡ソフトバンクホークス

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

メイプル・ワクナガ プレーオフは共に敗退…



延長戦までもちこむも 追いつけず

第38回日本リーグプレーオフが3月8日(土)、9日(日)に東京の駒沢体育館で行われた。レギュラーシーズン2位の広島メイプルレッズ対3位の北國銀行の戦い。北國銀行のスローオフで始まり前半中盤、両チームミスが続き点差は離れず互角の展開を繰り広げる。終盤、メイプルが攻めきれず北國銀行が4連続得点など14-11で前半を折り返す。

後半は北國銀行がノーマークシュートを打つがメイプルGK田口舞選手のファインセーブなどで得点がなかなか伸びない。逆にメイプルはセットプレーを確実に決め同点に追いつき、その後も追いかけるが、北國銀行も得点をあげる。25分過ぎにメイプル宋海林選手が同点ゴールを決め、高山智恵選手が逆転ゴールを決めた。北國銀行は最後のチャンスで塩見綾香選手のシュートで同点に追いつき延長戦になる。

延長戦は、メイプルのリードで始まるが北國銀行が同点に追いつきその後も得点をあげ、北國銀行1点リードで前半終了。延長後半メイプルが怒濤の攻撃をすも北國銀行の守りにより攻めきれず、25-23で北國銀行が勝利した。惜しくも敗れた広島メイプルレッズだが最後まで全力で戦ったチームの健闘を称えたい。



激闘の末敗戦

ワクナガレオリックは3月8日(土)~3月9日(日)に東京都世田谷区駒沢体育館で開催された第38回日本リーグプレーオフに出場した。

リーグ戦通算4位からの出場となったワクナガレオリックは、リーグ戦通算1位のトヨタ車体と激突。一時は10点差をつけられる苦しい展開だったが、8連続得点などを機に一気に2点差まで詰め寄る。その後成田幸平選手のロングスローで1点差まで詰め寄るが、トヨタ車体が2点を追加し3点差となる。諦めない湧永製菓は怒濤の攻撃で1点差まで再び詰め寄るが、無情にもタイムアップ。激戦の末30-29で湧永製菓は敗退した。

この敗戦によりワクナガレオリックの今シーズンは終了し最終順位は4位で確定した。今シーズンは惜しくも悔しい結果に終わったが来シーズンは優勝をつかみ取ってくれることをファンは期待している。

第38回大会 個人表彰結果

今年度のリーグ戦での個人表彰に、ワクナガレオリックから成田幸平選手がベストセブン賞とフィールド賞。メイプルレッズから高山智恵選手がベストセブン賞、宋海林選手がベストセブン賞・得点王・フィールド得点王と3つの部門で表彰された。

ワクナガレオリック

成田幸平 選手 (ベストセブン賞・フィールド得点賞)

メイプルレッズ

宋海林 選手 (ベストセブン賞・得点王・フィールド得点王)

高山智恵 選手 (ベストセブン賞)

メイプル ファン感謝デー開催!



参加者と選手達

3月1日(土)に東区スポーツセンターで広島メイプルレッズのファン感謝デーが開催された。当日は、多くの方が参加し大変盛り上がった。今年はミニ運動会のような形でムカデリレーやパン食い競争、全員で7mスロー合戦、大縄跳び、綱引きなどを行い参加されたすべての方が、選手とふれあい楽しめたようだ。